

2012 年度秋学期授業評価アンケート調査について
東洋大学国際地域学部国際観光学科

国際地域学部では、2012 年度秋学期に授業評価アンケートを実施しました。

国際地域学部では、毎年実施する授業評価アンケートの結果を教員の授業改善に向けた議論に役立てています。わかりやすい授業をすることと、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身につけることとの両立をめざして改善に取り組んでいるところです。

2012 年度秋学期におけるアンケート実施科目数は、国際地域学部全体で 120 科目、回答者延べ人数は 5,850 名ですが、その中で国際観光学科に関連するアンケート結果（回答者延べ数 2,174 名、アンケート対象者延べ数 3,311 名、有効回答率 65.7%）を下記に示します。

なお、アンケート実施方法、アンケート票の体裁が大きく変化したため、過去の授業評価アンケートと直接比較できないことに注意してください。

1. 回答者属性等について

表 1 から表 3 までに、回答者の個人属性を示します。アンケートは、国際観光学科の教員が担当している授業であるため、回答者の一部に経済学部、経営学部、文学部の学生がいますが、ほとんどが国際地域学部学生であることがわかります。また、学年の構成比率では 2 年生の割合が最も高く、4 年生が少ないこと、回答者の出席状況では、1-2 回の欠席が最も多いものの、5 回以上欠席した回答者が 79 名を占めることがわかります。授業に出席することが、授業履修の第 1 歩であるため、学生のしっかりとした授業参画を希望します。

また、表 4 に示すように受講人数の適切さでは、563 名（26.1%）が「多すぎる」もしくは「やや多い」と回答しており、より適切なクラスサイズについて検討する必要があると考えています。

表 1 回答者の所属学部

学部	文	経済	経営	法	社会	理工	国際	生命	ライフ	総合	有効回答	無効回答
	5	14	14	0	0	0	2,138	0	0	0	2,171	3

表 2 回答者の学年

学年	1年	2年	3年	4年	その他	有効回答	無効回答
	462	956	652	100	0	2,170	4

表 3 回答者の出席状況

出席状況	一度も欠席なし	1～2回の欠席	3～4回の欠席	5回以上欠席	有効回答	無効回答
	567	1,097	393	79	2,136	38

表 4 受講人数の適切さについての回答分布

受講人数の適切さ	多すぎる	やや多い	適切	やや少ない	少なすぎる	有効回答	無効回答
	97	466	1,530	54	8	2,155	19

2. 授業についての評価

2.1 授業のわかりやすさについて

表5に、授業のわかりやすさについての回答分布を示します。国際観光学科の評価が高い項目として、「5.先生の声は聞き取りやすかったですか。」

「4.スクリーンに投影される文字や図表は読みやすく作成されていましたか」

以上の2つがあげられる一方、最も評価が悪い項目として、下記が指摘されました。

「3.黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」

この板書については、大学全体平均よりも評価が悪いため、特に改善の余地があると考えられます。

表5 授業のわかりやすさについての回答分布

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数 / 回答率 (%)										有効回答	無効回答
					1		2		3		4		5			
A. 授業のわかりやすさについて																
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.26	3.19	3.15	わかりやすかった		わりにわかりやすかった		ややわかりにくかった		わかりにくかった				2,167	7
					990	45.7%	826	38.1%	274	12.6%	77	3.6%				
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.25	3.24	3.22	役に立った		わりに役に立った		あまり役に立たなかった		役に立たなかった		これらの教材は使わなかった		2,161	13
					814	37.7%	989	45.8%	226	10.5%	38	1.8%	94	4.3%		
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	3.02	3.03	3.05	見やすかった		わりに見やすかった		あまり見やすくなかった		見やすくなかった		板書はしなかった		2,156	18
					539	25.0%	649	30.1%	283	13.1%	109	5.1%	576	26.7%		
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.33	3.31	3.31	見やすかった		わりに見やすかった		あまり見やすくなかった		見やすくなかった		パワーポイント等は使わなかった		2,166	8
					907	41.9%	726	33.5%	195	9.0%	49	2.3%	289	13.3%		
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.43	3.39	3.43	聞き取りやすかった		わりに聞き取りやすかった		あまり聞き取りやすくなかった		聞き取りやすくなかった				2,166	8
					1,247	57.6%	654	30.2%	209	9.6%	56	2.6%				
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.26	3.20	3.17	わかりやすかった		わりにわかりやすかった		ややわかりにくかった		わかりにくかった				2,155	19
					980	45.5%	832	38.6%	260	12.1%	83	3.9%				

2.2 授業運営について

授業運営において、評価が高いものは、「3.授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。」である一方、相対的に「2.先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」の評価が悪く、講義を聞く環境づくりに注力する必要があると考えられます。

表6 授業運営について

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数 / 回答率 (%)										有効回答	無効回答
					1		2		3		4		5			
B. 授業運営について																
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.38	3.39	3.37	そう思う		わりにそう思う		あまりそう思わない		そう思わない				2,161	13
					1,009	46.7%	989	45.8%	133	6.2%	30	1.4%				
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.28	3.31	3.27	そう思う		わりにそう思う		あまりそう思わない		そう思わない		私語がなかったので注意の必要がない		2,162	12
					881	40.7%	810	37.5%	248	11.5%	42	1.9%	181	8.4%		
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.59	3.58	3.49	そう思う		わりにそう思う		あまりそう思わない		そう思わない				2,148	26
					1,412	65.7%	623	29.0%	91	4.2%	22	1.0%				
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.39	3.37	3.35	よかった		わりによかった		あまりよくなかった		よくなかった				2,127	47
					1,086	51.1%	812	38.2%	192	9.0%	37	1.7%				

2.3 学習成果について

表 7 より、「2. 受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。」、「3. 受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。」の評価に比べて、選択肢 1「あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。」ならびに選択肢 4「この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。」の評価が相対的に低くなっています。言い換えると受動的な観点からは授業による学習成果をみとめるものの、能動的な観点からは十分評価していないと考えられ、より自発的な授業への取り組みを醸成させることが必要と考えられます。

表 7 学習成果について

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数 / 回答率 (%)					有効回答	無効回答
					1	2	3	4	5		
C. 学習成果について											
1	あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。	3.07	3.05	3.06	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		2,136	38
					645 30.2%	1,043 48.8%	398 18.6%	50 2.3%			
2	受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。	3.31	3.30	3.29	できた	わりにできた	あまりできなかった	できなかった		2,132	42
					956 44.8%	909 42.6%	239 11.2%	28 1.3%			
3	受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。	3.15	3.15	3.16	できた	わりにできた	あまりできなかった	できなかった		2,131	43
					768 36.0%	954 44.8%	361 16.9%	48 2.3%			
4	この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。	3.07	3.05	3.04	よかった	わりによかった	あまりよくなかった	よくなかった		2,131	43
					633 29.7%	1,067 50.1%	374 17.6%	57 2.7%			

2.4 授業の難易度と進度について

表 8 に、授業の難易度と進度の結果を示しますが、いずれの項目とも 3.2 ポイント以上となっており、比較的高い評価になっていることが分かります。

表 8 授業の難易度と進度について

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数 / 回答率 (%)								有効回答	無効回答
					1	2	3	4	5					
D. 授業の難易度と進度について														
					適切であった	わりと適切であった	あまり適切ではなかった	適切ではなかった						
1	授業の難易度はあなたにとって適切でしたか。	3.23	3.19	3.12	823 38.7%	1,010 47.5%	258 12.1%	36 1.7%					2,127	47
2	授業の進み方のペースは、あなたにとって適切でしたか。	3.31	3.28	3.21	906 42.8%	992 46.8%	190 9.0%	30 1.4%					2,118	56
3	総合的に見て、授業の難易度と進度は適切でしたか。	3.30	3.26	3.18	897 42.2%	996 46.9%	205 9.7%	26 1.2%					2,124	50

3. 総評

まず、授業についての評価において、比較的低い評価であった項目は、

- ・「3. 黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。」
- ・「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」

以上の 2 項目でした。

また、授業の学習成果についてみると、受動的評価項目では学習成果をみとめるものの、能動的な観点からは十分評価していないと考えられ、より自発的な授業への取り組みを実現させ、それを通じた満

足度の上昇が必要不可欠であると考えられます。

また、その他の項目において評価が低かった項目をその対応策とあわせて下記に列挙します。

・5回以上欠席した回答者が79名いたこと

(対策：学生のしっかりとした授業参画への誘導を適切に行うこと),

・受講人数の適切さにおいて、26.1%の学生が、多すぎる、やや多いと回答していること

(対策：適切なクラスサイズについて、教室数との兼ね合いを検討しながら、時間割の検討などを行うこと)。

以上